

第4回 九州医学哲学・倫理学会 学術大会報告

平成25年9月7日、鹿児島大学（郡元キャンパス 法文学部1号館201講義室）において、下記の通り開催された。

大会テーマ「先端医療と倫理」

1. 療養する力 ― 高次脳機能障害者の手記を通して ―

福岡大学大学院 人文科学研究科 教育・臨床心理専攻 大学院生 中野桂子

2. 自閉症者の人間学的研究 ― 操作的診断に焦点をあてて ―

倉敷市立短期大学 保育学科 准教授 眞次浩司

・ 臨床ケア哲学・倫理学セミナー テーマ：医のプロフェッショナリズムを考える

日本医学哲学・倫理学会 研究委員会 主催

「医のプロフェッショナリズム教育とは何か ― 現状と課題について」

日本医学哲学・倫理学会 研究委員会 委員長 藤野昭宏

「医のプロフェッショナリズムと生命倫理」

日本医学哲学・倫理学会 会長 小出泰士

3. 『ケアの倫理』からみた看護教育の視座 ― ネル・ノディングスのケア教育論から

旭川大学 保健福祉学部保健看護学科 教授 泉澤真紀

4. シンポジウム連動 特別発表 本邦初の新型着床前診断臨床適用に関する倫理的考察

鹿屋体育大学 教授 児玉正幸

5. シンポジウム テーマ：先端生殖補助医療と倫理

「当院における着床前遺伝子診断（PGD）の現状と今後の展望について」

医療法人仁知会 竹内レディースクリニック 院長 竹内一浩

「施行中の扶助生殖医療（非配偶者間体外受精や代理出産）についての私の考え方」

医療法人登誠会 諏訪マタニティークリニック 院長 根津八紘